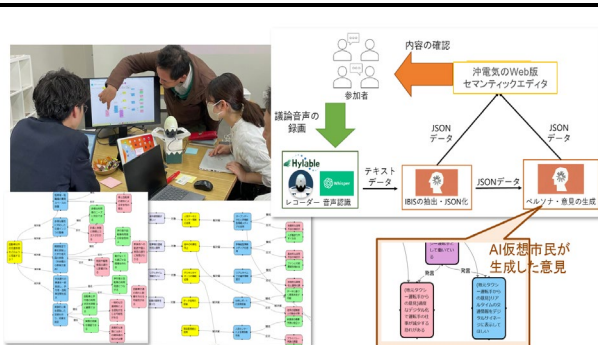


指導教員	白松 俊・長澤 史記
研究室から一言	「大規模言語モデルの実社会応用やシビックテックに興味がある」 「人間社会の合意形成手法をアップデートしたい」という人、ぜひ！
研究テーマ: LLMで人々を繋ぎコラボレーション(合意形成やシビックテック)を支援	
白松・長澤研究室では、 自然言語処理 や ナレッジグラフ といった技術を応用して、合意形成やシビックテックなど組織の壁を越えたコラボレーションに使えるようなシステムを研究・開発しています。LLMの性能がますます向上していくと予想される今後、人間がAIに依存して意思決定を任せてしまうディストピアではなく、 AIが人々の相互理解と協働を促して人間の可能性を最大化する社会を実現したい と考えています。例えば、AIが演じる仮想市民を相手に議論の練習ができる議論シミュレーターや、対面の議論内容を自動的に構造化する議論支援システム、対立的な状況で感情を聞き取って相互理解を促す対話エージェントなどを開発しています。さらに、ユーザの自己開示を促す聞き取り対話システムも開発中です。ぜひ一度覗いてみて下さい！	
研究室見学会 場所	2号館B棟2階202B
研究室見学会 日時	(他の日時を希望する方は、 siramatu@nitech.ac.jp まで。応相談) 10/9(木)13:00, 10/14(火) 14:40, 10/15(水)13:00, 10/20(月)14:40, 10/22(水)13:00
定員超過の場合の選考基準	面接にて総合的に選考



LLM が議論内容を構造化して議論支援

株式会社ソシアノッター

・2024年4月に学生と出資し合って設立

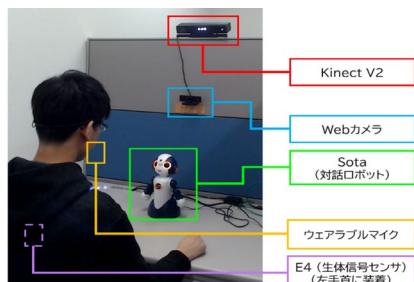


Socia Knotter

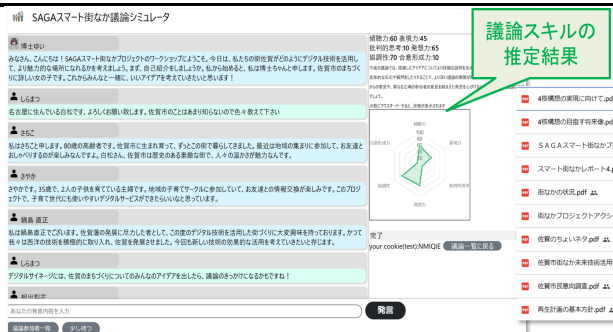
ラテン語の"socius"の女性形。直訳すると「仲間、同僚、パートナー」また、語尾に「i」がつくことで「社会的、社会的な」という意味に

英語の"knot"という、「ロープや紐を結びつける」という動詞から来ている。結びつける人、というようなニュアンス

研究成果を社会実装するスタートアップ企業

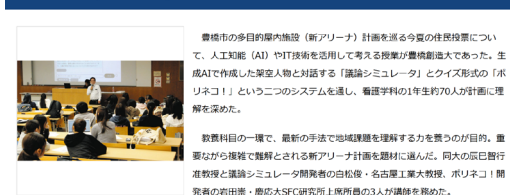


表情や動作からユーザの「話したい度」を推定して自己開示を促すインタビューロボット



LLM 仮想市民エージェントを相手に議論の練習ができる議論シミュレータ

架空人物が「賛成」「反対」 豊橋創造大、新アリーナ住民投票でAIと対話授業



議論シミュレータで対立意見の背景を学ぶ実験



アーバンデータチャレンジ 2024
ビジネス・プロフェッショナル部門
最優秀賞



メンタル危機の検出ボット

白松・長澤研 Web サイト : <http://www.srmt.nitech.ac.jp/>